

■ 会告

■ 第1回放射光施設責任者会議（仮称）議事録

日時：2019年3月9日（土）13:00～15:00

場所：貸会議室のルビコン（東京八重洲）

参加者：

特別賛助会員

竹田美和（科学技術交流財団 あいちシンクロトロン光センター 所長），船守展正（高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光実験施設 実験施設長（予定）），田中良太郎（高輝度光科学研究センター 専務理事），妹尾与志木（佐賀県地域産業支援センター 九州シンクロトロン光研究センター 副所長），郭其新（佐賀大学 シンクロトロン光応用研究センター センター長），解良聡（自然科学研究機構 分子科学研究所 極端紫外光研究施設 施設長），西畑保雄（日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター 放射光エネルギー材料研究ディビジョン ディビジョン長），渡邊健夫（兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 所長），島田賢也（広島大学 放射光科学研究センター センター長），石川哲也（理化学研究所 放射光科学研究センター センター長），太田俊明（立命館大学 SR センター センター長），内海渉（量子科学技術研究開発機構 次世代放射光施設整備開発センター センター長）

放射光学会

小杉信博（会長），矢橋牧名（渉外幹事），佐藤亜己奈（事務局 オブザーバー）

大柁直樹（文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課 量子放射線研究推進室 室長補佐），高田昌樹（光科学イノベーションセンター 理事長，欠席）

議事・討議事項

1. 特別賛助会員と学会との関係（資料1）

- 小杉会長から説明があった。
- 施設が参加するアジアオセアニアフォーラム（AOF）に日本側として対応するため，日本放射光学会に特別賛助会員の制度が発足した。各施設には，特別賛助会員会費を通して，学会にサポートをいただいている。また，放射光学会の共催団体としても支援をいただいている（“take”）。
- これらの支援に対する，学会側からの還元（“give”）の位置づけも含めて，特別賛助会員を中心とする国内施設の責任者が集まって，施設間の役割分担や共通の諸課題について情報交換や議論を実施する場を設定した。

2. アジアオセアニアフォーラム報告（資料6）

- 矢橋渉外幹事，小杉会長から説明があった。今年度新たに，大学院生の国際活動支援奨学金を設け，AOF 関連の会議・スクールに対する，国内大学院生の参加を促進するという方策が説明された。
- AOF スクールの参加者及び奨学生の募集に関して，学会

からのどのようにアナウンスするか議論がなされた。議論の結果，学会員全体に呼びかけるとともに，並行して特別賛助会員に周知候補者の推薦を受け付ける（学会員である必要はない），という2つの流れで参加候補者を募ることとなった。最終候補者は幹事会で選考することが評議員会で決まっている。

- 学会の奨学金を得るためには，学会員の資格（学生会員）が必要であることが確認された。（奨学金を得ずに参加する場合はこの限りではない）

3. 会議の呼称と定例化について（資料2）

- 小杉会長から説明があった。
- 頻度，時期については，毎年1回を目処として，2月～4月の間に開催することが確認された。放射光分野を文科省で所掌している量子放射線研究推進室には陪席をお願いする。
- 会議の呼称については，「放射光施設代表者会議」「放射光施設責任者会議」等の候補があげられた。
- 呼称とともに，本会の位置づけについて議論がなされた。特別賛助会員と各施設の代表は必ずしも一対一に対応していないため，「施設代表者会議」とするのであれば，学会が各施設の代表者を選んで実施すべきではないかという意見があった。一方で，小杉会長からは，学会が「施設代表者」を任意で決めることは難しいため，特別賛助会員制度に基づいて会議メンバーを選定したという説明があった。
- また，特別賛助会員の入会規約についても，一般的な記述であり施設との紐付けが読みとれないという意見があった。
- 議論の中で，「拡大放射光施設代表者会議」という呼称案が提案された。会議の呼称及び特別賛助会員の入会規約については，幹事会等でさらに議論をすることとなった。

4. 国内放射光施設のグランドデザイン（資料3）

- 小杉会長から説明があった。学術会議のマスタープラン公募にあたり，学会として「大規模研究計画」の提出を検討している，また，前回提出した3GeV 級次世代放射光施設計画については継続中の「大型施設計画」としてそのまま変更なしで提出しておく（審査済みであり，再度審査対象とする必要はない。また，学術予算以外の予算で動き出しているため，学術予算を前提としている日本学術会議の審議に掛けるものでもなくなった。），という方針が説明された。
- 今回の提案は，あくまでも学術3施設によるネットワーク型の研究計画の提案であって，各施設の次期光源計画に関わる予算要求とは独立したものでありコンフリクトしないこと，また，今後，各施設の次期光源計画が出てきた場合には，これまでと同様，必要に応じて学会で調整することになること，が説明された。
- 技術・人材の流れについては，「学術」から「学術以外」

への流れだけではなく、逆方向の流れもあるため、概念図に適切に反映してほしいという指摘があり、この方向でグランドデザイン素案（ポンチ絵）を修正して、マスタープランの資料にすることになった。

5. 各施設の報告

- 各施設から報告があった。下記の事項に対して、資料等を用いて説明がなされた。
 - a) 施設名, 利用開始年, ビームライン数
 - b) 施設の特徴や今後の強化項目
(他施設との差別化, 標準化…)
 - c) 施設の問題点 (あれば)
 - d) 他施設から技術等の協力を得たいこと (あれば)
 - e) 他施設に対して技術等の協力ができること (あれば)
 - f) その他 (施設間で共有したい情報などがあれば)
- 多くの施設の課題として、以下のような共通の問題があることが明らかになった。今後、各施設で連携・協力しながら問題を解決していく方向性が話し合われた。
 - 先端的な検出器の開発
 - 装置の遠隔操作・自動化やビッグデータ処理技術, 情報・統計学の応用
 - 施設スタッフ (加速器技術, 利用技術) の育成, 人事交流および技術共有
 - 各種電源, 電磁石, 制御機器等の高度化および技術共有
 - 空間構造を持つ放射光などの革新的な光源技術開発とその応用の探求
 - 光学素子の炭素汚染除去技術の開発と技術共有
 - 集光技術, イメージング技術の高度化と情報共有
 - 施設間連携による測定データの信頼性向上と標準化, 解析方法の指導
 - 試料のその場観測技術や放射線損傷回避技術の高度化および情報共有
 - 放射線管理に関する連携 (放射線管理区域の安全策定の方策, 安全教育の負担軽減等)

6. 終わりに

- 文科省量研究室の大柵室長補佐から、量子ビーム利用推進小委員会では SPring-8/SACLA の中間評価が丁度終わったところであり、次期の小委員会では、国内の放射光施設の役割分担を踏まえながら、発展の方向性を検討していく予定である、このためにも、人材育成・人材の動きのあり方や、各施設の状況のヒアリングを進めていきたい、というコメントがあった。また、マスタープランで学術施設の連携を中心としたネットワーク化を進めることも、時機を得ていると考えられる、という発言があった。
- 矢橋渉外幹事から、一つの施設に複数の特別賛助会員が含まれている場合があるため、次回以降の各施設の報告では、全ての特別賛助会員がそれぞれ報告するのではなく、各施設毎にとりまとめたいただいた方がよいのではないかという意見があった。引き続き幹事会等で議論を行なう。

■日本放射光学会第122回評議員会議事録

日 時：2019年4月13日 (土) 14:00~16:00

場 所：立命館東京キャンパス 教室5

出席者：足立伸一, 雨宮健太, 雨宮慶幸, 有馬孝尚, 五十嵐教之, 内海渉 (庶務幹事), 太田俊明, 尾嶋正治, 籠島靖 (編集幹事), 河田洋, 木村昭夫, 木村真一, 木村洋昭, 小杉信博 (会長), 近藤寛, 辛埴, 中尾裕則, 中川敦史, 野村昌治, 初井宇記, 水木純一郎, 村上洋一, 矢橋牧名 (渉外幹事), 横山利彦
稲田康宏 (会計幹事), 組頭広志 (行事幹事)

欠席者：石川哲也, 岸本俊二, 木下豊彦, 田中義人, 百生敦, 若林裕助

事務局：佐藤亜己奈

〈審議事項〉

1. JSR2019開催における準備金貸借について
稲田会計幹事より、前年度に学会会計から貸し渡した JSR2019開催における準備金300万円が返済されたことについて報告があった。また、JSR2019組織委員会でメール審議が行われ、黒字収支分 (849,306円) 全額を日本放射光学会に寄付することが承認されたことについて報告があった。
2. JSR2020開催における準備金貸借について
稲田会計幹事より、JSR2020開催における準備金貸借に関する覚書が示された。委員会旅費等 JSR2019で準備金として必要となった経費に加えて、JSR2020では会場費 (約300万円) を前払いする必要があることから、600万円を貸し渡すことを承認した。
JSR2020開催後の処理として、準備金未満で黒字収支の場合または赤字収支の場合には、両者で協議した上で、その対応を評議員会にて審議・承認することを確認した。
3. 会員異動
内海庶務幹事より、第121回評議員会以降の入会申請者に関して、入会：正会員6名 (内学生0名)、シニア会員2名の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員15名 (内学生7名) を確認した。2019年4月13日現在の総会員数は1,245名 (内学生121名)、名誉会員4名、シニア会員67名、賛助会員49社 (51口)、特別賛助会員12団体 (19口)。また、会費3年間滞納のため第121回評議員会で自動退会となった41名と現在会費2年滞納となっている51名のリストを確認した。加えて、第121回評議員会においてリストから漏れていた会費3年間滞納のための自動退会者1名を確認した。
4. 協賛・後援・共催
矢橋渉外幹事より、本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり、協賛12件、後援1件を承認した。

〈報告事項〉

1. マスタープランへの応募について
小杉会長より、これまでの評議員会での議論に加え、国内の放射光施設の在り方 (グランドデザイン) を議論する場である放射光施設責任者会議 (仮称) でも議論し、文科省にも相談した上で、幹事会及び関係者で作成したものについて

て、評議員会でのメール審議を行い、その結果、学会が提案するマスタープランとして、①大型施設計画「官民地域パートナーシップによる次世代放射光施設の推進」区分Ⅱ、②大規模研究計画「放射光学術基盤ネットワーク」区分Ⅰの2件を日本学会に提出した旨、報告があった。

2. 学会三賞公募について

内海庶務幹事より、第24回学会奨励賞・第7回功労報賞・第3回放射光科学賞の応募要領が示され、これを確認した。

3. 次期会長・評議員選挙について

内海庶務幹事より、次期会長・評議員選挙のスケジュール、推薦依頼文が示され、これを確認した。尚、選挙担当は木村真一評議員にお願いをすることとした。

4. JSR2019実施報告

組頭行事幹事より、第32回年会・合同シンポ(JSR2019)の参加者数、収支などについて報告があった。また、学生発表賞の結果について報告があり、JSR2018と連続受賞の場合、次点と僅差(統計処理の誤差内)の時には次点を優先したとの説明があった。前年と連続受賞となった場合の取扱いについて評議員から様々な意見があり、これらの意見を踏まえて今後の対応を組織委員会で検討することとした。

5. JSR2020・JSR2021準備状況

組頭行事幹事より、2020年1月10日(金)～12日(日)にウイングあいちで開催される第33回年会・合同シンポ(JSR2020)および2021年1月8日(金)～10日(日)に広島国際会議場で開催予定の第34回年会・合同シンポ(JSR2021)の準備状況について報告があった。

6. 第11回若手研究会準備状況

組頭行事幹事より、第11回若手研究会の公募に関して、2件の応募があり、5月7日に審査委員会を開催し、採否を決定するとの報告があった。

7. 第11回基礎講習会準備状況

組頭行事幹事より、第11回放射光基礎講習会の準備状況について報告があった。開催日は2019年9月5日(木)～6日(金)、場所は名古屋大学環境総合館レクチャーホールで開催予定。

8. 会誌編集状況

籠島編集幹事より、試料環境シリーズ、依頼記事の進捗状況、中性子科学会との合同特集号の発行について報告があった。

9. 単行本「改訂版 ビームライン光学技術入門」の出版

籠島編集幹事より、「改訂版 放射光ビームライン光学技術入門」出版の進捗状況について、7月末までオンデマンド印刷版の先行予約を受け付けており、学会誌広告・チラシ・ポスター・学会ホームページ等で販売促進を行っている旨、報告があった。

10. 第1回放射光施設責任者会議(仮称)

矢橋渉外幹事より、国内施設の責任者が集まって、施設間の役割分担や共通の諸課題について情報交換や議論を実施する場として、2019年3月9日に第1回放射光施設責任者会議(仮称)を開催した旨、報告があった。メンバーは特別賛助会員の代表者、放射光学会会長、渉外幹事。オブザーバーとして文科省量研室からも出席。毎年1回を目処

として、2月～4月の間に開催。会議の意見として会議名を拡大放射光施設代表者会議とする案が出され、評議員会でも異論がなかったため、今後、拡大放射光施設代表者会議と呼ぶことにした。

出席評議員より、施設の代表者だけではなく今後はユーザーコミュニティの代表者にもオブザーバー参加してもらってはどうかとの意見があり、次期執行部にその検討を申し送ることにした。

11. AOFSSRR 活動報告

矢橋渉外幹事より、2019年AOFスクールについてはNSRRC(台湾)主催で2019年11月に開催予定との報告があり、日程が確定次第公募を開始するとの説明があった。

12. その他

小杉会長より、本学会と日本学会との関係について説明があり、2019年3月28日に開催された第9回理学・工学系学協会連絡協議会で議論された内容について報告があった。

評議員会日程(予定)の確認

第123回評議員会 2019年7月13日(土) 場所:立命館大学東京キャンパス

■会員異動

第122回評議員会(2019年4月13日)で承認

《正会員入会》

五十嵐 康彦	科学技術振興機構
鶴田 一樹	(公財)高輝度光科学研究センター
上野 哲朗	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
土井 玲祐	日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター
石地 耕太郎	九州シンクロトロン光研究センター
小島 一男	立命館大学生命科学部

以上6名

《シニア会員入会》

大門 寛	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学
藤森 淳	早稲田大学 応用物理学科

以上2名

《退会会員》

正会員8名, 学生会員7名

《会員数》

会員1245名(内学生121名) 名誉会員4名 シニア会員67名
賛助会員49社(51口) 特別賛助会員12団体(19口)

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2019年 8/22-23	第11回役に立つ真空技術入門講座	大阪電気通信大学 駅前キャンパス	公益社団法人日本表面真空学会 関西支部 E-mail: office@jvss-kansai.jp	32・3
8/27-30	第59回 (2019年度) 真空夏季大学	つま恋リゾート 彩の郷	公益社団法人日本表面真空学会 E-mail: office@jvss.jp	32・4
8/30-31	SPring-8 シンポジウム2019	岡山大学 創立五十周年記念館 金光ホール	SPring-8 ユーザー協団体 (SPRUC), 理化学研究所 放射光科学研究センター, 高輝度光科学研究センター (JASRI), 兵庫県立大学 E-mail: sp8sympo2019@spring8.or.jp	32・3
8/30-9/1	XAFS 夏の学校2019	国民宿舎 虹の松原ホテル	日本 XAFS 研究会 E-mail: kobayashi@saga-ls.jp	32・4
9/2-4	第22回 XAFS 討論会	京都大学 吉田キャンパス	日本 XAFS 研究会 E-mail: jxafs22@moleng.kyoto-u.ac.jp	32・2
9/3-4	International Young Researchers Workshop on Synchrotron Radiation Science	広島大学 東広島キャンパス	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail: h-iwasawa@hiroshima-u.ac.jp	32・4
9/4	SPring-8 データ科学研究会 (第7回)/第43回 SPring-8 先端利用技術ワークショップ 兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス講演会 (第3回) 「放射光計測インフォマティクス」	AP 品川アネックス	兵庫県 (兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス研究会), (公財)高輝度光科学研究センター (JASRI), SPring-8 利用推進協議会, 物質・材料研究機構 情報統合型物質・材料研究拠点 E-mail: suishin@spring8.or.jp	32・4
9/23-26	第3回 J-PARC 国際シンポジウム「宇宙・物質・生命の起源を求めて」 (J-PARC2019)	つくば国際会議場エポカル	J-PARC センター (大学共同利用法人 高エネルギー加速器研究機構, 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構) E-mail: j-parc2019_contact@j-parc.jp	32・4
10/3-4	第10回社会人のための表面科学ベーシック講座	東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム	公益社団法人日本表面真空学会 E-mail: office@jvss.jp	32・4
10/17-20	The 6th International Symposium on Diffraction Structural Biology (ISDSB2019)	大阪大学会館	The 6th International Symposium on Diffraction Structural Biology (ISDSB2019) 組織委員会, 日本学術振興会回折構造生物第169委員会 https://isdsb2019.symposium-hp.jp	32・4
10/20-25	12th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices '19 (ALC'19)	みやこめっせ (京都市勧業館)	日本学術振興会 マイクロビームアナリシス第141委員会 E-mail: alc19@alc.jsps141.org	32・1
10/23-25	第60回高圧討論会	かでの2・7 北海道立道民活動センター	日本高圧力学会 E-mail: touronkai60@highpressure.jp	32・3
10/25-26	第15回 X 線結像光学シンポジウム	トラストシティ カンファレンス・仙台	X 線結像光学研究会 https://www.xnpig2019.com/	32・4
10/28-30	2019年日本表面真空学会学術講演会	つくば国際会議場	公益社団法人日本表面真空学会 E-mail: taikai2019@jvss.jp	32・4
10/28-31	第32回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議	広島国際会議場	公益社団法人 応用物理学会 E-mail: secretariat@imnc.jp	32・3
10/30 -11/1	第48回結晶成長国内会議 (JCCG-48)	大阪大学 银杏会館	日本結晶成長学会 E-mail: jccg-48@jacg.jp	32・4
11/3-8	第14回非結晶物質の構造に関する国際会議	ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター	NCM14組織委員会 E-mail: ncm14@kumamoto-u.ac.jp	32・2
11/3-8	第8回実用表面分析国際シンポジウム	北海道札幌市, ホテルエミシア札幌	一般社団法人 表面分析研究会 URL: http://www.sasj.jp/PSA/PSA19/	31・5
11/18	実用表面分析セミナー2019	神戸大学 百年記念館 六甲ホール	公益社団法人日本表面真空学会関西支部 E-mail: Daisuke.Sawada@kaneka.co.jp	32・4

■第59回 (2019年度) 真空夏季大学

主催：公益社団法人日本表面真空学会
協賛：日本放射光学会，他
日時：2019年8月27日（火）～8月30日（金）
場所：つま恋リゾート 彩の郷（静岡県掛川市満水2000）
定員：100名（先着順にて定員に達し次第締め切ります。）
問合せ先：
公益社団法人日本表面真空学会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル 5階
TEL：03-3812-0266 FAX：03-3812-2897
E-mail: office@jvss.jp
詳細：<https://www.jvss.jp/>

■XAFS 夏の学校2019

主催：日本 XAFS 研究会
協賛：日本放射光学会，他
日時：2019年8月30日（金）～9月1日（日）
場所：国民宿舎 虹の松原ホテル
問合せ先：
佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター 小林 英一
E-mail: kobayashi@saga-ls.jp
詳細：<http://sites.google.com/site/jxafssoc2001/news>

■International Young Researchers Workshop on Synchrotron Radiation Science

主催：応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
日時：2019年9月3日（火）～9月4日（水）
場所：広島大学東広島キャンパス 理学部 E102他
参加費：無料
問合せ先：
岩澤英明 広島大学理学研究科物理科学専攻
〒739-8526 広島県東広島市鏡山 1-3-1
E-mail: h-iwasawa@hiroshima-u.ac.jp
詳細：<https://sites.google.com/view/yrsr2019/english>

■SPring-8 データ科学研究会 (第7回) /第43回 SPpring-8 先端利用技術ワークショップ 兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス講演会 (第3回)「放射光計測インフォマティクス」

主催：兵庫県 (兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス研究会)，(公財)高輝度光科学研究センター (JASRI)，SPpring-8 利用推進協議会，物質・材料研究機構情報統合型物質・材料研究拠点
協賛：日本放射光学会，他
日時：2019年9月4日（水）13：00-17：15（研究会），17：30-19：00（技術交流会）
場所：AP 品川アネックス 1F A+B室（研究会）同 B1F P室（技術交流会）

定員：70名（無料 定員になり次第締め切ります。）

問合せ先：
(公財)高輝度光科学研究センター
産業利用推進室 佐野 則道 (sanon@spring8.or.jp)
SPpring-8 利用推進協議会研究会事務局
(suishin@spring8.or.jp)
TEL: 0791-58-2785 FAX: 0791-58-2786
事務担当：普及情報課 濱本 美和子

詳細：
http://www.jasri.jp/iuss/research_activity/2019/20190904.html

■第3回 J-PARC 国際シンポジウム「宇宙・物質・生命の起源を求めて」(J-PARC2019)

主催：J-PARC センター (大学共同利用法人高エネルギー加速器研究機構，国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)
協賛：日本放射光学会，他
日時：2019年9月23日（月）～9月26日（木）
場所：つくば国際会議場エポカル
問合せ先：
J-PARC 2019事務局
E-mail: j-parc2019_contact@j-parc.jp
詳細：<http://j-parc.jp/symposium/j-parc2019/index.html>

■第10回社会人のための表面科学ベーシック講座

主催：公益社団法人 日本表面真空学会
協賛：日本放射光学会，他
日時：2019年10月3日（木）～10月4日（金）
場所：東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム (東京都新宿区神楽坂 4-2-2)
定員：70名 (定員に達し次第締め切ります。)
問合せ先：
公益社団法人 日本表面真空学会
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル 5F
TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897
E-mail: office@jvss.jp
詳細：<https://www.jvss.jp/>

■The 6th International Symposium on Diffraction Structural Biology (ISDSB2019)

主催：The 6th International Symposium on Diffraction Structural Biology (ISDSB2019) 組織委員会，日本学術振興会回折構造生物第169委員会
協賛：日本放射光学会，他
日時：2019年10月17日（木）～10月20日（日）
場所：大阪大学会館
詳細：<https://isdsb2019.symposium-hp.jp>

■第15回 X線結像光学シンポジウム

主催：X線結像光学研究会
 協賛：日本放射光学会，他
 日時：2019年10月25日（金）～10月26日（土）
 場所：トラストシティ カンファレンス・仙台
 詳細：<https://www.xnpig2019.com/>

場所：大阪大学 銀杏会館（大阪府吹田市）

問合せ先：
 日本結晶成長学会事務局
 E-mail: jccg-48@jacg.jp
 詳細：<http://www.jacg.jp/>

■2019年日本表面真空学会学術講演会

主催：公益社団法人 日本表面真空学会
 協賛：日本放射光学会，他
 日時：2019年10月28日（月）～10月30日（水）
 場所：つくば国際会議場（〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20-3）
 問合せ先：E-mail: taikai2019@jvss.jp
 詳細：<https://www.jvss.jp/>

■実用表面分析セミナー2019

主催：公益社団法人日本表面真空学会関西支部
 協賛：日本放射光学会，他
 日時：2019年11月18日（月）
 場所：神戸大学 百年記念館六甲ホール（神戸市灘区）
 参加費：無料
 問合せ先：
 （公社）日本表面真空学会 関西支部 幹事
 澤田 大輔
 株式会社カネカテクノロジーサーチ
 〒566-0072 大阪府摂津市鳥飼西 5-1-1
 TEL: 072-653-8301
 E-mail: Daisuke.Sawada@kaneka.co.jp
 詳細：http://www.sssj.org/Kansai/kansai_jitsuyou22.html

■第48回結晶成長国内会議（JCCG-48）

主催：日本結晶成長学会
 協賛：日本放射光学会，他
 日時：2019年10月30日（水）～11月1日（金）

● 2020年度会費の振替日について ●

2020年度会費をご指定の銀行口座から振替させていただきます。
 振替日は以下の通りですので、よろしく願いいたします。

○振替日 8月23日

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 籠島 靖
 渉外幹事 矢橋牧名

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr324

Password : n27dRwra

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、矢橋 (yabashi@spring8.or.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、籠島 (kagosima@sci.u-hyogo.ac.jp) までお願いします。